

2021年8月27日

(株)神戸製鋼所 加古川製鉄所  
関西熱化学(株) 加古川工場

降下ばいじん 加古川製鉄所 自主管理目標値 (環境対策効果の予測値)  
未達成について

1. 降下ばいじん実績について

加古川製鉄所では、2008年4月から粉じん対策の効果を確認するため、降下ばいじんに関して製鉄所影響値  $3.0\text{t}/\text{km}^2/\text{月}$ 以下(対象測定地点:加古川神鋼ビル、別府小学校、尾上小学校の3箇所)の自主管理目標値(環境対策効果の予測値)を設定し、その達成に注力してまいりました。

各種の降下ばいじん対策を実施し、目標値を下回る実績を挙げてまいりましたが、本日、加古川市より7月測定値が加古川神鋼ビルで  $3.78\text{t}/\text{km}^2/\text{月}$ 、別府小学校で  $3.17\text{t}/\text{km}^2/\text{月}$ と自主管理目標値未達成の連絡を受けましたので、以下に報告いたします。5月、6月に引き続き自主管理目標値未達成となりました。地域の皆様には大変ご迷惑・ご心配をお掛けし、深くお詫び申し上げます。

<降下ばいじん 製鉄所影響値<sup>\*1</sup> (加古川市測定) >

測定地点	単位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
加古川神鋼ビル	$\text{t}/\text{km}^2/\text{月}$	0.67	1.82	1.50	1.63	<b>3.06</b>	<b>3.06</b>	<b>3.78</b>
別府小学校	〃	1.54	1.98	1.03	1.10	1.70	2.37	<b>3.17</b>
尾上小学校	〃	0.10	0.22	0.71	0.38	1.29	2.01	0.76

2. 自主管理目標値未達成の原因と今後の取り組みについて

5月度については、断続的な降雨と強風がありましたが、雨に濡れない場所に堆積した粉じんが、高所噴霧散水設備が停止したタイミングで飛散した影響と考えております。これについては、定期的な粉じん除去、降雨時も湿潤化されない場所の湿潤化、降雨の合間も高所噴霧散水設備を運転する対策を実施中です。

一方で、6月と7月度については、日々のパトロールや点検において、これまで実施してきた降下ばいじん対策は継続できていることを確認しており、現時点で特段の異常は認めておらず、自主管理目標値の未達成の原因は特定できておりません。連続して未達成となっていることから、ビッグデータ解析等を用いた原因究明や想定される原因の降下ばいじん値への影響のシミュレーション等を実施し、対策につなげてまいります。原因と対策は年内を目途にとりまとめ、ご報告させていただきます。

<加古川製鉄所長 北山 修二 コメント>

5月に続き、6、7月と連続で自主管理目標値未達成となったことを重く受け止めております。降下ばいじん対策は、製鉄所の重要課題の一つと位置付けており、原因究明と対策を進め、安定して目標値を達成するよう注力してまいります。

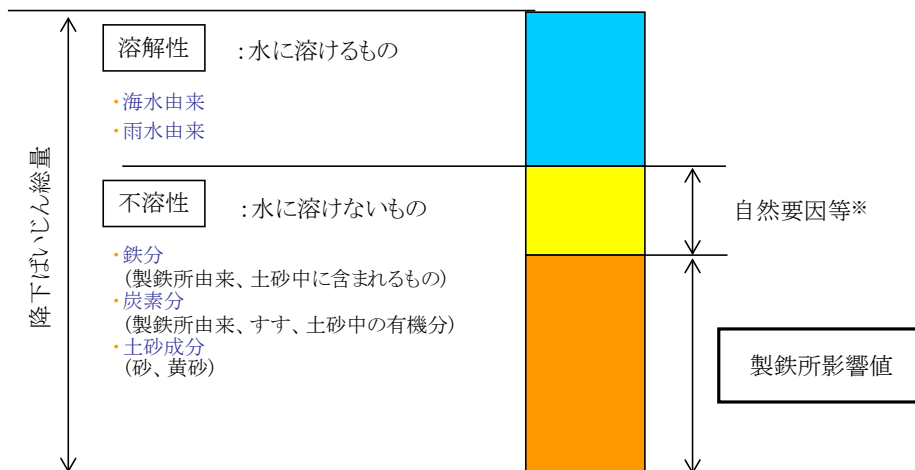
<関西熱化学(株) 加古川工場長 長谷川 幸英 コメント>

社員一同、日々、降下ばいじん対策に取り組んで参りましたが、5月に続き、6、7月と連続で自主管理目標値が未達成となりました。原因を調査するとともに現在取り組んでいる対策の維持継続に努めるようにいたします。

以上

※<sup>1</sup>製鉄所影響値

粉じんの管理を強化するため、製鉄所近隣で加古川市が測定している3ヶ所（加古川神鋼ビル、別府小学校、尾上小学校）の降下ばいじん量について、製鉄所影響値を3.0t/km<sup>2</sup>/月以下とする自主管理目標値を定め、'08年4月から運用しております。製鉄所影響値の算出の考え方を図1に示します。運用開始前の10年間における製鉄所影響値の最大値は6.6t/km<sup>2</sup>/月であり、それを半減以下にするという目標です。



※ 自然要因等: 環境監視センター、山手中学校、東神吉小学校、志方公民館、平荘小学校の不溶性降下ばいじん量の平均値。

図1. 目標値を設定する降下ばいじんの対象